

20

現状のデバイスのデータを編集したい！

20.1	現状のデバイスのデータを編集してみよう！	20-2
20.2	設定ガイド	20-6

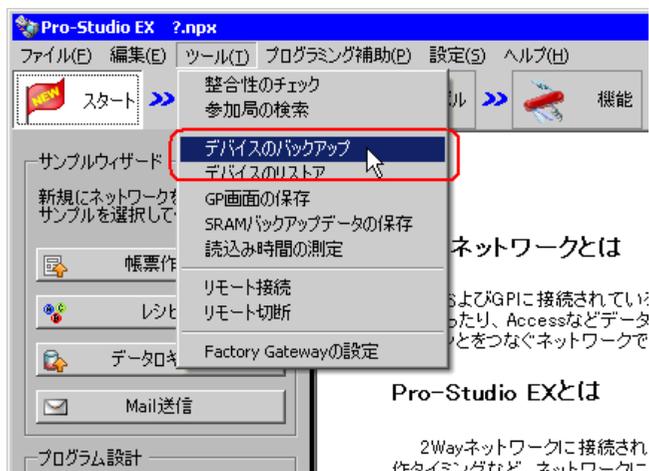
20.1 現状のデバイスのデータを編集してみよう！

接続機器のデバイスデータを簡単設定で編集することができます。

ただし、編集できるデータは連続デバイスに限りますので、メンテナンス時などで一部のデータのみバックアップ／編集する状況でご利用いただくことをおすすめします。

MEMO • バックアップ／編集したデータは、次項の「第 21 章 編集したデバイスのデータを戻したい！」で接続機器に格納することができます。

- 1 メニューバーの [ツール] から、[デバイスのバックアップ] をクリックします。



- 2 「デバイスのバックアップ」画面の各項目を設定し、[バックアップ] ボタンをクリックします。

デバイスのバックアップ

指定されたデバイスの現在値を読み出し保存します。

局名 AGP1

機器名 PLC1

デバイスアドレス Sheet3.PLC1データ

個数 5

データタイプ

- ビット
- 16ビット
- 32ビット
- 符号なし10進
- 符号あり10進
- 16進

保存先フォルダ C:\Program Files\Pro-face\Pro-Server EX\NPX\DataBase 参照

ファイル名 %NODE_%DEVICE

保存形式

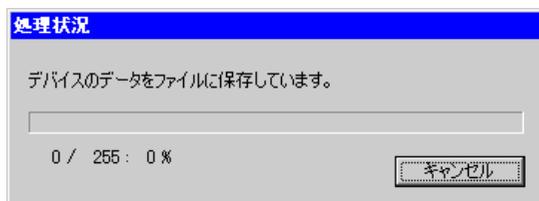
- BIN
- CSV

バックアップ キャンセル

MEMO データの保存形式には以下の特徴があります。

- BIN
大容量のデータを保存する場合に適しています。ただし、バックアップしたデータをパソコン上で確認／編集することはできません。
- CSV
バックアップしたデータを Excel などで確認／編集することができます。

「処理状況」画面が表示され、バックアップ処理の経過が表示されます。



- MEMO** • 「デバイスのバックアップ」画面で設定した内容が正しくない場合、以下のメッセージが表示されます。

メッセージの内容	対処方法
ビットでのバックアップは255までの数を指定してください。	[個数] の値を 1～255 の間に設定し直してから、バックアップを実行してください。
ビット型のシンボルはビット以外でバックアップできません。	[デバイスアドレス] にビット型のシンボルを設定している場合、ビット型以外のデータタイプではバックアップできません。 データタイプを「ビット」に設定し直してから、バックアップを実行してください。
ビット型以外のシンボルはビットでバックアップできません。	[デバイスアドレス] にビット型以外のシンボルを設定している場合、ビット型のデータタイプではバックアップできません。 データタイプを「ビット」以外に設定し直してから、バックアップを実行してください。

データが正常に保存されると、「デバイスのバックアップは正常に終了しました。」というメッセージが表示されます。

[OK] ボタンをクリックすると、処理を終了します。



CSV形式のデータ内容は、以下の通りです。

局名、(バックアップ元の局名)

機器名、(バックアップ元の接続機器)

デバイス名、(バックアップ開始のデバイスアドレス)

個数、(バックアップ個数)

デバイス長、(バックアップしたデバイスのビット数)

データタイプ、符号なし10進

日付、(バックアップした日付)

データ、コメント

(第1デバイスアドレスの値)、(第1デバイスアドレス名)

(第2デバイスアドレスの値)、(第2デバイスアドレス名)

バックアップした日付は、「(年) / (月) / (日) (スペース) (時) : (分)」のフォーマットで書き込まれます。ただし (分) のみ、1けたの場合は0を補完します。

20.2 設定ガイド

デバイスのバックアップ

指定されたデバイスの現在値を読み出し保存します。

局名

機器名

デバイスアドレス

個数

データタイプ

ビット 符号なし10進

16ビット 符号あり10進

32ビット 16進

保存先フォルダ

ファイル名

保存形式

BIN

CSV

設定項目	設定内容
局名	<p>デバイスデータを読み出す参加局を選択します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> リストには、ロード中のネットワークプロジェクトファイルに登録されている参加局が表示されます。
機器名	<p>デバイスデータを読み出す接続機器を選択します。</p>
デバイスアドレス	<p>データを読み出すデバイスの先頭となるデバイスアドレスまたはシンボルを入力します。</p>
個数	<p>バックアップするデバイスの個数を入力します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップできるデバイスの最大個数は、そのデバイスのデータタイプなどにより異なります。
データタイプ	<p>保存するデータのデータタイプを選択します。[保存形式]を[CSV]に設定している場合は、データ表記も設定します。</p>
保存先フォルダ	<p>ファイルの保存先フォルダを設定します。[参照]ボタンをクリックして選択するか、直接入力します。</p>
ファイル名	<p>保存するファイル名を入力します。初期状態では、選択した局名、デバイスアドレス、保存形式、データタイプによってファイル名が変わるようになっています。</p>

設定項目	設定内容
<p>保存形式</p>	<p>データの保存形式を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • BIN バイナリデータとして保存します。 <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大容量のデータを保存する場合に適しています。ただし、バックアップしたデータをパソコン上で確認／編集することはできません。 <ul style="list-style-type: none"> • CSV CSV データとして保存します。 <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> • バックアップしたデータをパソコン上で確認／編集することができます。

